

上サロベツ自然再生協議会 第13回再生普及部会 議事概要

- ・日時：平成25年2月7日（木）14:00-15:15
- ・場所：豊富町民センター 大ホール
- ・出席者：20名（個人5名、団体・機関15名）
- ・傍聴者：13名（うち報道関係者3名）

1. 開会

2. 座長及び座長代理の選出

○座長に高瀬清氏(NPO サロベツ・エコ・ネットワーク代表理事)、座長代理に田中美佐保氏が選出された。

3. 座長挨拶：高瀬 清 氏

4. 報告

平成24年普及活動の結果について（資料1-1, 資料1-2, 資料2）

○エコモ－☆サポ－ター田中代表及び環境省から報告

《質疑》

（構成員）

- ・エコモ－・プロジェクトへの登録が継続しないとの話があったが、活動実施者としてはエコモ－・プロジェクトのために活動しているわけではないので、エコモ－・プロジェクトに登録する意欲がわくような工夫が必要ではないか。
- ・観光客の中にはエコモ－Dayと知らずに湿原センターに訪れていた方もいたが、料理コンテストの審査などに参加し非常に楽しんでた。普段自然再生と関わりの少ない方も交流できるよいイベントだった。
- ・サロベツ環境学習ツアーに参加した友人は、地元に住んでいてもこのような機会がないと行くことができない、全く知らなかったことを知ることができ参加してよかったと話していた。これからもこのような機会を継続してもらいたい。

（田中代表）

- ・エコモ－・プロジェクトに登録する意欲がわく工夫については、エコモ－☆サポ－ターで考えていきたい。また、再生普及部会構成員の方からもいいアイデアがあれば是非ご意見をいただきたい。

（環境省）

- ・エコモ－Dayについては、農家の方々にも協力していただきイベントを主催する側としても様々な方と交流を深める機会となった。
- ・サロベツ環境学習ツアーについては、自然再生事業の効果や植生の回復状況などを見ていただき参加者からも好意的な感想が多かった。自然再生事業は地元の方にも見守っていただける取り組みになればと考えているので、今後も継続出来るよう工夫していきたい。

（構成員）

- ・エコモ－・プロジェクトとして行われたサロベツ川、ペンケ沼の清掃について、回収したゴミの量を教えてもらいたい。また、このような清掃はこれからも必要か教えてもらいたい。

（NPO サロベツ・エコ・ネットワーク嶋崎氏）

- ・ペンケ沼は流れが少なく上流から流れてきたゴミが堆積しているため、去年はペンケ沼を中心に清掃を行った。ゴミの量としては40ℓ ゴミ袋77袋、計240kgを回収したが、カヤックで回収できる量が限られており、全てのゴミを回収することはできていない状況。

(座長)

- ・ペンケ沼に流入するゴミは降雨量やサロベツ川の水量によっても影響する。

(構成員)

- ・普及行動計画にもある「人や団体のつながりをつくる」について、活動実施者が一同に会する機会はあるか。また、登録数が減った理由は把握しているか。

(田中代表)

- ・年に1回活動報告会を開催し活動実施者同士の交流を促進している。しかし、登録数が減った理由については十分に把握できていない。今後把握していきたい。

5. 議題

(1) 平成25年普及活動の進め方について(資料3)

○エコモ-☆サポ-ター田中代表から説明

《質疑》

(一同) 意見なし

(座長) エコモ-☆サポ-ターの活動計画を承認することでよろしいか。

(一同) 異議なし

(2) エコモ-☆サポ-ター活動実施要綱(案)について(資料4)

○事務局から説明

《質疑》

(構成員)

- ・第4条にあるエコモ-☆サポ-ターの構成として、現在再生普及部会構成員ではない方も次期募集において部会構成員となることが記載されているが、このことは、エコモ-☆サポ-ターをきっかけに自然再生協議会にも関わっていただくという理解でよいか。

(事務局)

- ・そのように考えていただけたらと思う。

(座長) エコモ-☆サポ-ター活動実施要綱(案)を承認することでよろしいか。

(一同) 異議なし

(3) エコモ-☆サポ-ターの募集について

○事務局から説明

《質疑》

(一同) 意見なし

(座長)

- ・事務局提案のとおり本日から第2期エコモ-☆サポ-ターを募集するということがよろしいか。

(一同) 異議なし

6. その他

○特になし

7. 閉会